

ビリミノバックメチル・プロモブチド・ペンスルフロンメチル・ペントキサゾン剤 トップガン (GT 1キロ粒剤51/Lフロアブル)	取扱メーカー： クミカ 原体メーカー： クミカ、住友化学、クミカ、 科研製薬
成分： ビリミノバックメチル〔ビリジニルカルボン酸系〕…0.45% (粒剤), 0.56% (フロアブル) プロモブチド〔酸アミド系〕……………9.0% (粒剤), 17.0% (フロアブル) ペンスルフロンメチル〔スルホニルウレア系〕……………0.51% (粒剤), 0.93% (フロアブル) ペントキサゾン〔オキサゾリジンジオン系〕……………2.0% (粒剤), 2.8% (フロアブル)	性状： 類白色細粒 (粒剤) 淡褐色水性和性粘稠懸濁液体 (フロアブル) 毒性： 普通物 消防法： ——

【品目特性】…………… 〈共通〉

- スルホニルウレア剤に感受性が低下した、アゼナ、コナギなどの一年生広葉雑草及びイヌホタルイの発生前から2葉期まで、安定した高い効果を示す、初・中期一発処理除草剤である。
- ノビエを始めとする水田一年生雑草からホタルイ、ミズガヤツリ、ウリカワ、ヒルムシロ、セリなどの主要な多年生雑草に高い効果を示す。また、アオミドロや藻類による表層はく離に対しても発生前の処理で発生を抑制する。
- ノビエに対して高い効果を示す。雑草の発生前からノビエ3葉期まで適用があるので、田植後にゆとりを持って散布できる。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】…………… 〈共通〉

- 共通注意事項の5、水稻除草剤散布 使用上のポイントを参照。
- 適用地域は北陸、関東以西である。
- 雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3葉期までに時期を失ないように散布する。
- 多年生雑草は生育段階によって効果にフレがあるので、必ず適期に散布する。

雑草名	散布適期	
	粒剤	フロアブル
ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ	2葉期まで	
ヒルムシロ	発生期まで	
セリ	再生始期まで	
クログワイ	発生始期まで	
オモダカ		
コウキヤガラ	発生始期まで	—
アオミドロ・藻類 による表層はく離	発生前	

- スルホニルウレア剤に感受性の低下したホタルイ等が発生する圃場では早め（ノビエ2葉期頃まで）に散布する。

〈粒剤〉

- オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生期間が長く、遅い発生のものまでは十分な効果を示さないので、有効な後処理剤と組み合わせて使用する。

〈フロアブル〉

- オモダカ、クログワイは発生期間が長く、遅い発生のものまでは十分な効果を示さないので、有効な後処理剤と組み合わせて使用する。

【薬効・薬害等の注意】…………… 〈共通〉

- 共通注意事項の5、水稻除草剤散布 薬効・薬害等の注意を参照。
- 移植前に生育したミズガヤツリには効果が劣るので、物理的防除法などを用いて移植前に防除してから使用する。
- 直播水稻に使用する場合は、発芽直後の稲に対して薬害が生じるおそれがあるので、適切な覆土を行い、稲の1葉期以降に散布する。（但し、砂

壤土条件でフロアブルを使用する場合は稲の1.5葉期以降に散布する。) また、稲の根が露出した条件では葉害を生じるおそれがあるので使用をさける。除草効果の低下と生育抑制の葉害が発生するおそれがあるので、入水後水持ちの安定した後

に散布する。
●散布後の数日間に著しい高温が続く場合、初期生育が抑制されることがあるが、一過性のもので次第に回復し、その後の生育に対する影響は認められていない。

●適用作物（水稲）の葉害などの注意は「葉害注意事項解説」を参照。

●適用外作物（いぐさ、れんこん、せり、くわい）への葉害などの注意は「葉害注意事項解説」を参照。

【安全対策上の注意】

〈共通〉

●散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。

〈粒剤〉

●藻類に影響を及ぼすので、使用時並びに使用後も注意。

〈フロアブル〉

●蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。

●甲殻類、藻類に影響を及ぼすので、使用時並びに使用後も注意。

〈フロアブル〉



【適用と使用法】

① トップガン GT1キロ粒剤51

作物名	適用雑草名	適用土壌	使用時期	10 a 当り 使用量	使用方法	適用地帯	本剤の 使用回数
移 植 水 稲	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヒルムシロ セリ オモダカ クログワイ コウキヤガラ (関東・東山・東海) アオミドロ・藻類 による表層はく離	砂壤土 ～埴土	移植時	1 kg	田植同時 散布機で 施用	全域（北海道、 東北を除く）の 普通期及び早期 栽培地帯	1 回 ※
			移植直後～ ノビエ 3 葉期 但し、移植後 30 日まで		湛水散布		
直 播 水 稲	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ セリ		稲 1 葉期～ ノビエ 3 葉期 但し、収穫 90 日前まで			全域（北海道、 東北を除く）	

※ビリミノバックメチルを含む農薬の総使用回数：2 回以内

※プロモブチドを含む農薬の総使用回数：2 回以内

※ペンシルフロンメチルを含む農薬の総使用回数：2 回以内

※ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数：2 回以内

② トップガンLFフロアブル

作物名	適用雑草名	適用 土壌	使用時期	10 a 当り 使用量	使用 方法	適用地帯	本剤の 使用回数
移植 水稲	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ オモダカ（北陸を除く） クログワイ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による 表層はく離	砂壤土 ～植土	移植直後～ ノビエ3葉期 但し、 移植後30日まで	500 ml	原液湛 水散布	全域(北海道, 東北を除く) の普通期及び 早期栽培地帯	1回※
			移植時		田植同 時散布 機で施 用		
直播 水稲	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ セリ アオミドロ・藻類による 表層はく離	壤土～ 植土	稲1葉期～ ノビエ3葉期 但し、 収穫90日前まで	500 ml	原液湛 水散布	全域(北海道, 東北を除く)	1回※
		砂壤土	稲1.5葉期～ ノビエ3葉期 但し、 収穫90日前まで				

※ビリミノバックメチルを含む農薬の総使用回数：2回以内

※プロモブチドを含む農薬の総使用回数：2回以内

※ペンシルフロンメチルを含む農薬の総使用回数：2回以内

※ベントキサゾンを含む農薬の総使用回数：2回以内